

この地球に、まだ四季はあるのか
ヴィヴァルディ《四季》への応答——
気候変動の時代にローザスが放つ、
自然と音楽への静かなる問いかけ

Rosas

イル・チメント・デッラルモーニア・エ・デッラ・インヴェンツィオーネ

Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione

和声と創意の試み

Anne Teresa De Keersmaeker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル, ラドワン・ムリジガ / ローザス, アトラファイブ

2026.6.19 Fri. 19:30, 20 Sat. 14:00, 21 Sun. 14:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

主催:公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場)、東京新聞

企画・制作:公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場) | 共同招聘:愛知県芸術劇場、ロームシアター京都 | 後援:駐日ベルギー王国大使館

SAITAMA
ARTS
THEATER

2025年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した世界的振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、鋭敏の振付家ラドワン・ムリジガが、ヴィヴァルディ《四季》を起点に創り出す新作。

2024年に発表され、〈ローザス〉の人気作となった本作が、ついに日本初上陸を果たします。

緻密な音楽分析をもとに振付を構築するケースマイケルと、沈黙の中から動きを立ち上げるムリジガ。4人のダンサーによる跳躍、旋回、回転は、天体の軌道や生命の循環と呼応するように展開します。約300年前の地中海から響く自然賛歌の楽曲と共に、作品はその構造と身体の関係を更新しながら、いま私たちが直面する気候変動の現実を詩的に問いかけます。

“何気なく、しかし知的に構築される、90分間のダンスの幾何学” ★★★

—英/フィナンシャル・タイムズ紙

Il Cimento dell'Armonia e dell'Invention

和声と創意の試み

Anne Teresa De Keersmaeker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5

振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ

共同創作・出演:ボシュチャン・アントニッチ、ナシーム・パダグ、ラヴ・クルンチェヴィッチ、ホセ・パウロ・ドス・サントス

音楽:アントニオ・ヴィヴァルディ《四季》

録音:アマンディーヌ・ペイエ、リ・インコーニティ Alpha Classics / Outthere Music (2015)

音楽分析:アマンディーヌ・ペイエ

詩:アスマー・ジャマ [We, the salvage]、アントニオ・ヴィヴァルディ [Le quattro stagioni]

世界初演:2024年5月11日ローザス・パフォーマンス・スペース(ブリュッセル) | 共同初演:ド・ミュント/ラ・モネ、カーイテアター、クンステンフェスティバル



Radouan Mriziga & Anne Teresa De Keersmaeker

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
Anne Teresa De Keersmaeker

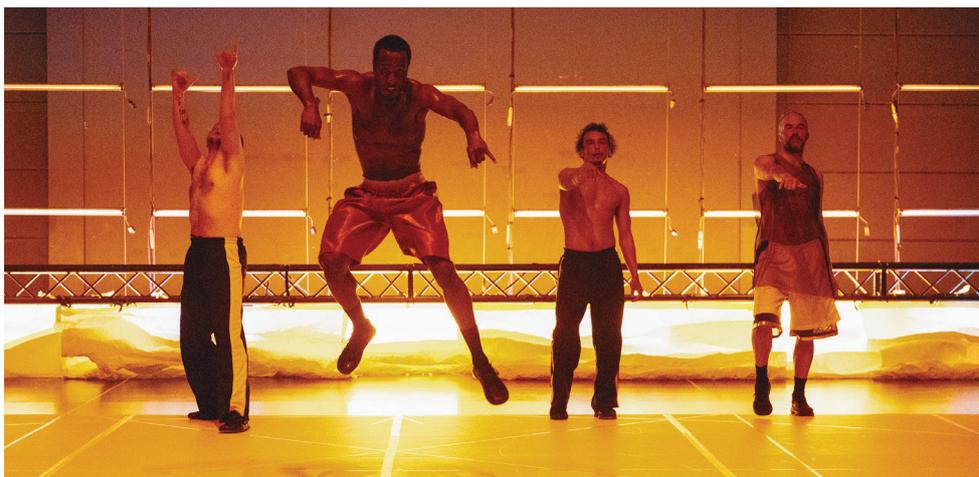
Rosas

1960年生まれ。ブリュッセルのムードラおよびニューヨーク大学ティッシュ・スクール・オブ・ジ・アーツでダンスを学んだ後、1980年に初の振付作品『アッシュ』を発表。2年後には『ファーズ〜ステイヴ・ライヒの音楽による4つのムーブメント』を初演。1983年にはブリュッセルにてダンスカンパニー〈ローザス〉を設立し、『ローザス・ダンス・ローザス』を発表した。以降、ケースマイケルの創作は、ダンスと音楽の関係を厳格かつ多角的に探求することを基盤としている。1995年には、ブリュッセルのラ・モネ劇場と提携し、パフォーマンス・アーツの教育機関P.A.R.T.S.を設立し、アーティスト育成にも力を入れている。

ラドワン・ムリジガ
Radouan Mriziga



1985年モロッコ生まれ。マラケシュとチュニジアでダンスを学んだ後、P.A.R.T.S.にて研鑽を積み、2012年に卒業。その後、〈ローザス〉『ツイットング』の再構築プロジェクトなど、国際的振付家の作品に参加し経験を重ねる。2014年より本格的に自身の創作活動を開始し、ソロ作品『55』、グループ作品『3600』『7』などを発表。ブリュッセルのカーイテアターや、アントワープのデ・シゲル・レジデンス・アーティストを務め、『Atlas』『Libya』『Aka』ほか、注目作を次々と発表している。2019年〈アトラファイブ〉設立。ケースマイケルとは2020年の『3IRD5 @ W9RK』に続く協働となる。



2026年6月

19日[金] 19:30、20日[土] 14:00、21日[日] 14:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

※上演時間:約90分(休憩なし)

※演出の都合により、開演時間を過ぎての入場や途中退場されますと、ご予約席へのご案内ができません。予めご了承ください。

チケット(全席指定・税込):

一般:S席8,000円/A席5,000円

U-25*:S席5,000円/A席2,500円

*公演時、25歳以下対象。入場時要身分証明書提示。

SAFメンバーズ:S席7,500円/A席4,500円

チケット取扱い・お問合せ:

[WEB] SAFオンラインチケット <https://www.saf.or.jp/t/>

[電話] SAFチケットセンター 0570-064-939

(劇場休館日を除く10:00-18:00)

[窓口] 彩の国さいたま芸術劇場・埼玉会館

(休館日を除く10:00-18:00)

[プレイガイド] イープラス <https://eplus.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

[Booking & Contact in English] info-en@saf.or.jp



SAFオンライン
チケット

発売日:

一般:3月28日[土]/SAFメンバーズ:3月20日[金祝]

※未就学児入場不可。

※サイドバルコニー、2階席の一部は舞台の一部が見えづらいお席です。

※[S席]1階席D列目までのお席は前列との間に段差がございます。予めご了承ください。

※車椅子でご来場の方は、チケットご購入時に必ずSAFチケットセンターへご連絡ください(車椅子スペースには限りがございます)。

※当劇場では聴覚支援機器としてFM補聴システムをご用意しております。Tコイル付き補聴器・人工内耳を装着のお客様へは、専用受信機をお貸し出いたします。また、補聴器をお持ちでないお客様へは、専用受信機とイヤホンをお貸し出いたします。いずれも前日までにSAFチケットセンターまでご連絡ください。

※営利目的での転売を禁止します。

主催:公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場)、東京新聞

企画・制作:公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場)

共同招聘:愛知県芸術劇場、ロームシアター京都

後援:駐日ベルギー王国大使館



ツアー情報:

6月24日[水] アマノ芸術創造センター名古屋

6月27日[土]、28日[日] ロームシアター京都

彩の国さいたま芸術劇場のご案内



◆JR埼京線「与野本町駅」
下車徒歩7分
◆新大宮バイパス
「上峰交差点」より200m

◆開場は開演の30分前です。
◆やむを得ない事情により公演等に変更が生じる場合がございます。
◆0歳6か月以上の未就学児に対して託児のご予約を承ります(お子様1人に対して負担金2,000円)。公演1週間前までに(株)明日香0120-165-115までお申込みください(受付時間/土日祝除く10:00-17:00、WEB申込みも可。詳細はHPへ)。定員になり次第締め切らせていただきます。
◆駐車場(有料)は台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

JR埼京線 池袋駅から普通約29分、快速約25分、新宿駅から快速約30分

公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

TEL: 048-858-5500(代) FAX: 048-858-5515

<https://www.saf.or.jp>

✕ @Dance_SAF

📷 @saitamaarttheater

LINE: 彩の国さいたま芸術劇場